

平成 28 年度 沖縄県文化観光スポーツ部観光整備課指定管理者制度運用委員会  
モニタリングの検証結果について

- 1 開催日時：平成 28 年 7 月 22 日（金）10:00～12:00
- 2 開催場所：沖縄県庁 7 階第 4 会議室
- 3 議 題：平成 27 年度指定管理モニタリング実施結果の検証について
  - (1) 沖縄コンベンションセンター
  - (2) 万国津梁館
- 4 委員出席状況：委員 4 名中、4 名出席
  - 委員 琉球大学観光産業科学部 講師 宮国 薫子
  - 委員 一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 顧問 大城 定理
  - 委員 浦添商工会議所総務部結の街事業推進課 課長 新垣 直美
  - 委員 学校法人 KBC 学園 理事 稲垣 純一
- 5 検証内容：
  - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか。
  - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
  - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
- 6 委員からの意見等
  - (1) 沖縄コンベンションセンター
    - ①利用者数の減に対する対策
      - ・利用者が大幅減となっている。大型催事は前もって予測可能であるはずであることから、事前に対策対応を取ることが必要である。
    - ②長期的なコンベンションエリアの振興
      - ・コンベンションエリアの活性化のため、宜野湾市と連携を密にして、振興を図る必要がある。
      - ・当センターでは老朽化に伴う大型修繕を行っているが、隣接する宜野湾市の施

・ 設も今後修繕等が行われると思われることから、修繕計画にあたっては、コンベンションエリアとしての施設の配置についても宜野湾市と連携して計画していく必要がある。

③防災対策の参加率

・ 防災訓練は従業員のうちどれだけ参加したかが重要である。参加率を明示し、参加率向上を意識して努めること。

④利用者へのアフターフォロー

・ 利用者数の減少があるので、これ以上減少しないため、利用者（顧客）へのアフターフォロー強化が必要であり、営業を強化すること。

⑤閑散期対策

・ 宿泊料が高く予約の取りにくい夏場の閑散期は、県内向けの催事を誘致し、月毎の利用者傾向の分析や柔軟な料金設定の検討など、閑散期対策を行うこと。

⑥料金徴収

・ 料金徴収は、未徴収案件が発生し、徴収に苦慮するケースが多い。徴収業務はかなり努力していると評価できる。今後も未徴収が発生しないよう継続して取り組むこと。

⑦アンケート項目と回収率

・ 利用者からのアンケート回収は難しい中、きめ細かなアンケート項目でこれだけ回収していることは評価できる。貴重なデータとなっているので、今後も継続して取り組むこと。

・ 回収率も重要であるので、回収率向上にも努めること。

⑧備品台帳の整備

・ 備品台帳の整備は重要である。特に見落としの多い抹消する場合についても確認して備品管理を行うこと。

⑨委託契約の契約方法

・ 利用者数の減少があるので、経費の効率化が重要となる。委託料の支出割合が高く、毎年同様な内容で行われるものであるため、改善が可能なものとする。契約方法についても県は確認し指導を行うこと。

(2) 万国津梁館

①利用者数減に対する対策

・ 利用者が減となっている。大型催事は前もって予測可能であるはずであること

から、事前に対策対応を取ることが必要である。

#### ②閑散期対策

- ・宿泊料が高く予約の取りにくい夏場の閑散期は、県内向けの催事を誘致し、月毎の利用者傾向の分析や柔軟な料金設定の検討など、閑散期対策を行うこと。

#### ③事業収支

- ・事業収支は良好である。かなり努力していると評価できる。

#### ④人材育成

- ・人材育成は、サービス面が重要であるが、よいカリキュラムで人材育成を実施していると思われ評価できる。今後の取り組みについても期待できる。

#### ⑤アンケート項目と回収率

- ・利用者からのアンケート回収は難しい中、きめ細かなアンケート項目でこれだけ回収していることは評価できる。貴重なデータとなっているので、今後も継続して取り組むこと。
- ・回収率も重要であるので、回収率向上にも努めること。
- ・会場ごとの満足度分析も必要と考える。

#### ⑥料金徴収

- ・料金徴収は、未徴収案件が発生し、徴収に苦慮するケースが多い。徴収業務はかなり努力していると評価できる。今後も未徴収が発生しないよう継続して取り組むこと。

#### ⑦備品台帳の整備

- ・備品台帳の整備は重要である。特に見落としの多い抹消する場合についても確認して備品管理を行うこと。

#### ⑧従業員の雇用

- ・(昨年オープンした中部の大型集客施設の影響や旅行者の増加で)旅行業や商業関係の人材確保は厳しい状況が続いている。
- ・従業員の雇用で退職者が出た場合の原因は、会社の経営責任の問題も考えられるので、そういった問題が発生しないよう組織体制にも配慮して取り組む必要がある。

沖縄コンベンションセンター 指定管理者 モニタリングシート

評価日時：平成28年5月20日（金） 沖縄コンベンションセンター

対応者：伊禮館長、嘉数副館長、町田、又吉、森 検査員：山城班長、安座間

I. 履行確認

1. 維持管理業務

| 事業計画        | 事業主体  |      | 実施内容   |  | 業務改善に向けた分析  |
|-------------|-------|------|--|--|---|
|             | 指定管理者 | 委託業者 | (事業報告書)  | (現地確認)   |   |
| 清掃          |       | ○    | 館内及び施設周辺の環境<br>公衆衛生の維持管理を実施                                  | 13～16名/日の体制で館内<br>清掃及び植栽維持管理を<br>実施しており、施設は清<br>潔に保たれ、植栽もきれ<br>いに行われていた。         | 今後も館内の衛生管理を徹底すること。                                    |
| 保守点検        |       | ○    | 16件の保守点検を実施  | 管理運営に係る関係法令<br>に従い、適切に点検が実<br>施されていた。  | 今後も適切な保守点検を実施すること。                                    |
| 保安警備        |       | ○    | 保安警備（昼間）、機械<br>警備（夜間）を実施                                     | 適切に管理が実施されて<br>いた。   | 今後も安全管理を徹底すること。                                       |
| 小規模修繕       | ○     |      | 139件の修繕を実施   | 利用者の安全を確保する<br>ための適切な修繕が行わ<br>れていたが、施設の老朽<br>化が進んでいることから、<br>修繕が必要な箇所が残っ<br>ている。 | 今後も施設の老朽化状況を踏まえつ<br>つ、利用者の安全確保を最優先に考<br>え計画的に修繕を行うこと。 |
| 備品購入        | ○     |      | ハンディー簡易無線機、<br>レジスター   | 経年劣化により簡易無線<br>機及びレジスターの買い<br>換えを行っている。  | 今後も両者協議の上、必要に応じた<br>備品購入を行うこと。                        |
| 防犯・防災<br>対策 | ○     |      | 事務職員、各委託業者職<br>員総勢60名（参加率は約<br>80%）で、総合訓練及び地<br>震・津波訓練を計2回実施 | 利用者の安全を確保する<br>ため、訓練の目的を明確<br>化した上で、実際に消<br>化・放水訓練も実施し、<br>実施後には検証を行って<br>いる。    | 今後も訓練目標を明確化し、関係機<br>関との連携を図った訓練を行うこ<br>と。             |
| 料金徴収業<br>務  | ○     |      | 施設利用料は、催事前<br>に前納、追加分は銀行振り<br>込みまたは窓口徴収                      | 1件の未徴収があり、督促<br>中となっている。   | 今後は、未徴収が発生しないよう早<br>めの督促等を行うこと。                       |

2. 運営業務

(1) 利用実績

① 利用者数

|      |       | 平成26年度  | 平成27年度  | 整合性の検証<br>(前年度比%) | 平成24～27年度<br>(4年間の平均値) | 平均値と<br>の比較(%) |
|------|-------|---------|---------|-------------------|------------------------|----------------|
| 利用者数 | 海外参加者 | 10,458  | 2,824   | 27.0              | 6,750                  | 41.8           |
|      | 県外参加者 | 122,230 | 59,930  | 49.0              | 89,345                 | 67.1           |
|      | 県内参加者 | 756,501 | 440,610 | 58.2              | 762,322                | 57.8           |
|      | 合計    | 889,189 | 503,364 | 56.6              | 858,416                | 58.6           |

業務改善に向けた分析

利用者数の多い国際映画が開催場所を那覇市に変更したことにより大幅に減少した。  
顧客へのアフターフォローを強化し、誘客増に繋がる国内外の催事の誘致に向け、プロモーション活動を強化していきたい。

② 開催件数

|          |      | 平成26年度 | 平成27年度 | 整合性の検証<br>(前年度比%) | 平成24～27年度<br>(4年間の平均値) | 平均値と<br>の比較(%) |
|----------|------|--------|--------|-------------------|------------------------|----------------|
| 開催<br>件数 | 国際会議 | 18     | 18     | 100.0             | 11                     | 167.4          |
|          | 県外会議 | 29     | 41     | 141.4             | 30                     | 135.5          |
|          | 県内会議 | 373    | 408    | 109.4             | 344                    | 118.8          |
|          | 合計   | 420    | 467    | 111.2             | 385                    | 121.5          |

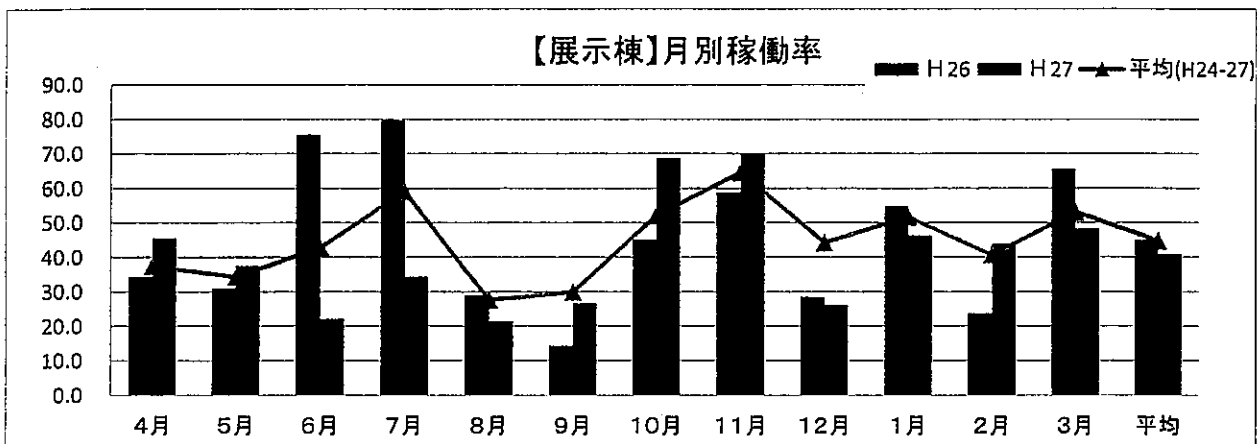
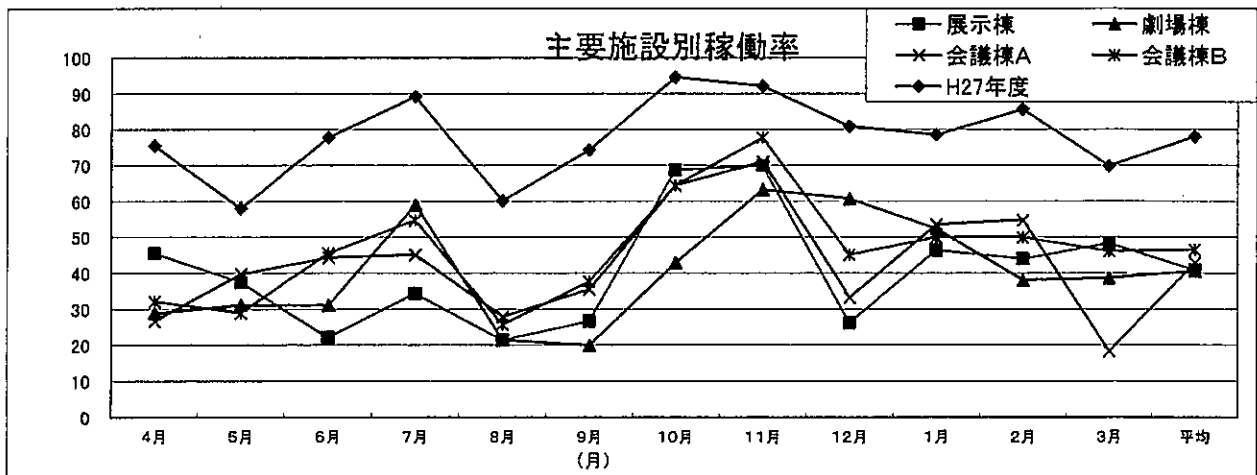
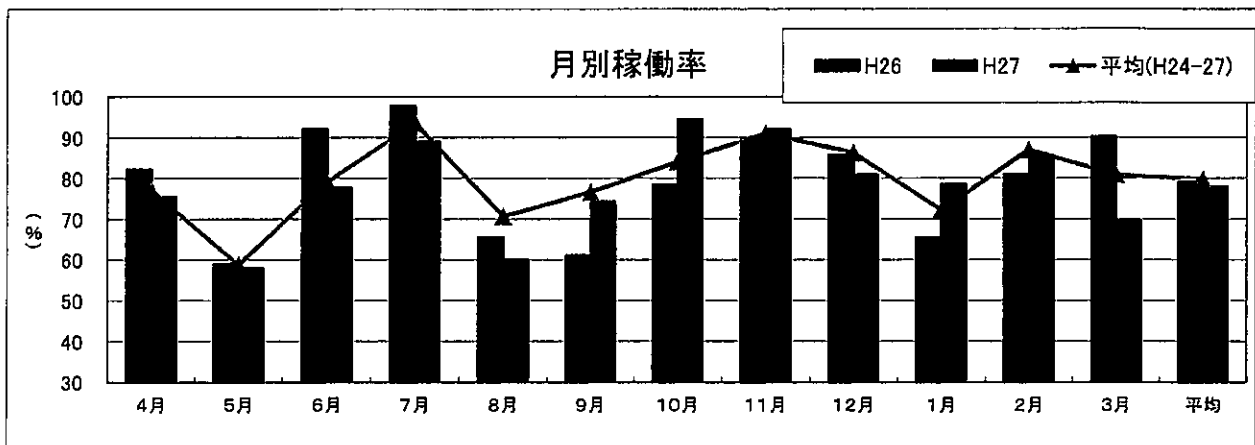
業務改善に向けた分析

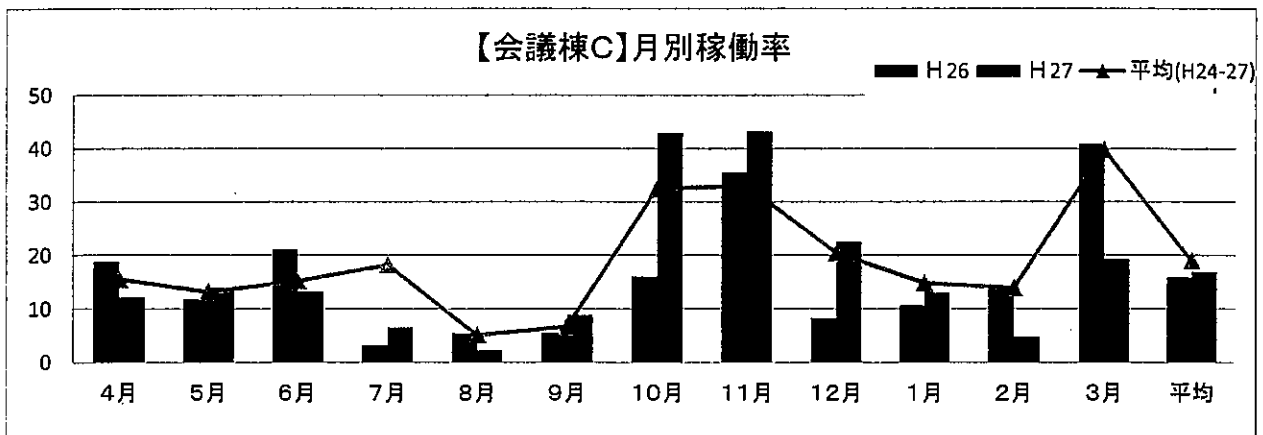
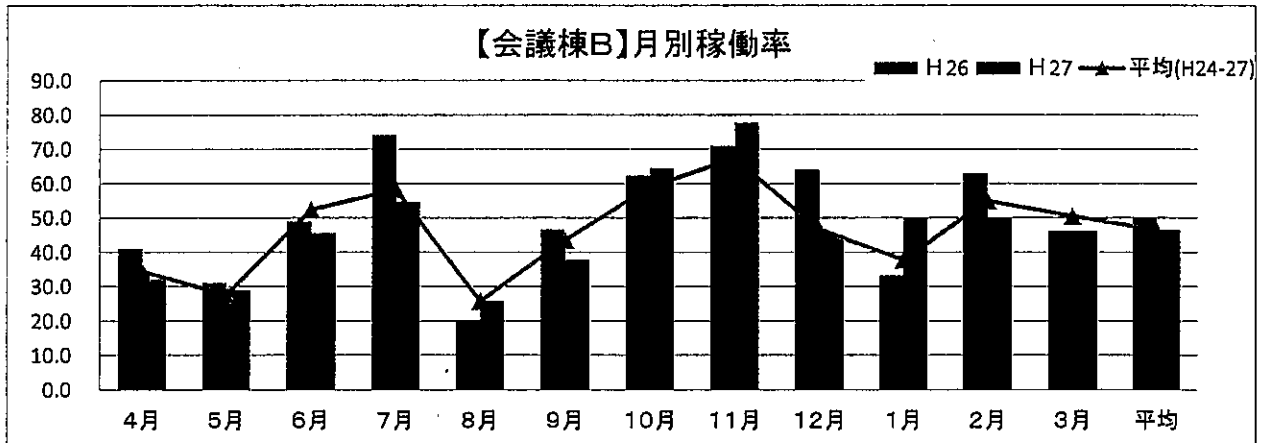
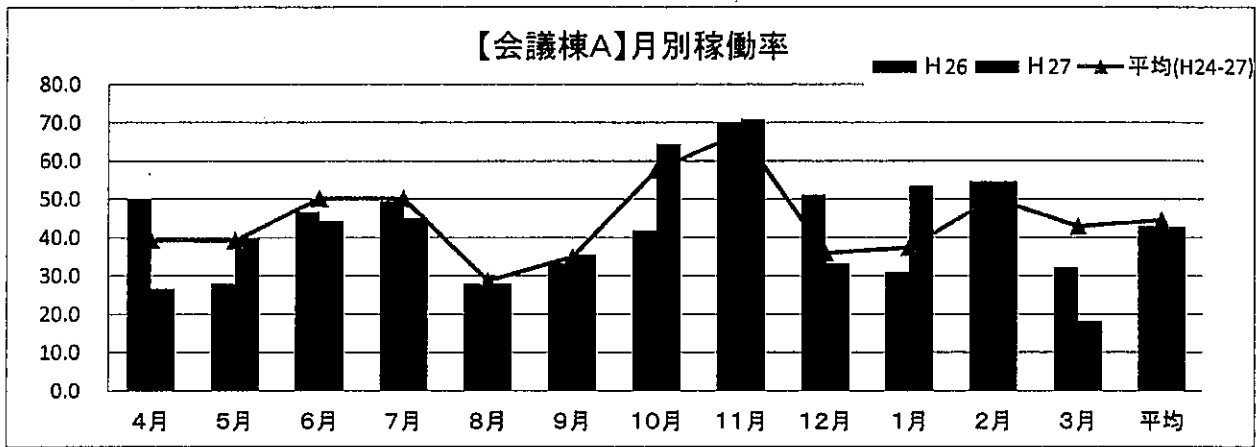
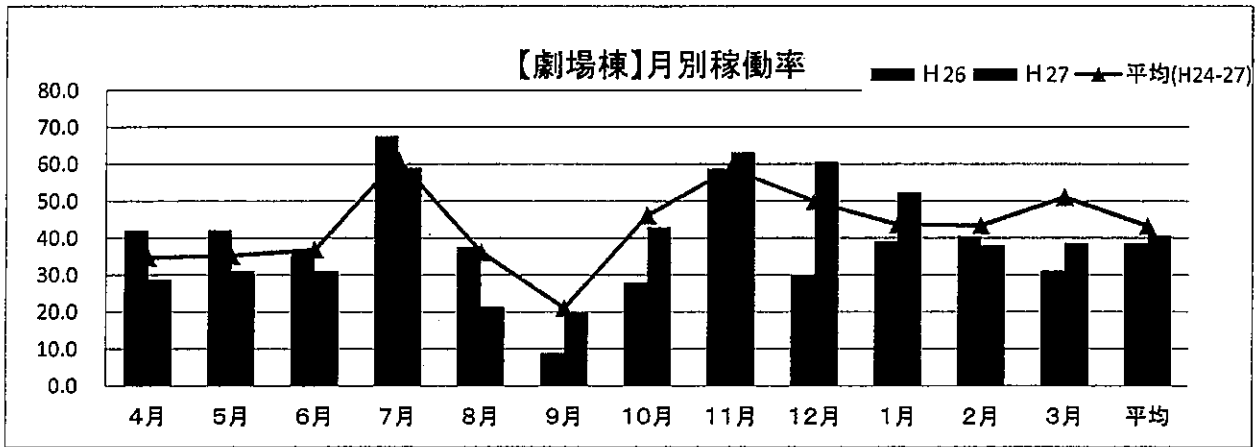
大型催事は減少したものの小規模催事は上昇したことから、開催件数は増加している。  
夏期の一般観光繁忙期は、開催件数が減る傾向にあるため、今後は、月毎に見合った誘致を行い、閑散期の落ち込みを  
平準化していきたい。

③ 施設稼働率

|       | 平成26年度      | 平成27年度      | 整合性の検証<br>(前年度比%) | 業務改善に<br>向けた分析   |
|-------|-------------|-------------|-------------------|--|
| 施設稼働率 | 79.1 (34.6) | 78.1 (33.4) | 98.7              | 催事件数は増加したものの、小規模催事の増加によるもので、全体的に稼働率は低下している。本施設の稼働率を高めるためには、複数会場を複数日で利用する大型の学会、会議等の開催件数を増やすことが効果的であることから、ターゲットを絞り込んだセールス活動と過去の使用者に対する営業展開を積極的に行っていく必要がある。また、特に夏場の閑散期については、県内催事の誘導や施設内覧会等の自主事業の実施、利用料金の引き下げ等、様々な対応策を検討する必要がある。 |
| 展示棟   | 45.1        | 41.0        | 90.9              |  |
| 劇場棟   | 38.6        | 40.7        | 105.4             |  |
| 会議棟A  | 43.0        | 42.9        | 99.8              |  |
| 会議棟B  | 50.2        | 46.6        | 92.8              |  |
| 会議場C  | 16.0        | 16.9        | 105.6             |  |

( )書きは、別の計算手法により算出。





## (2) 利用者サービス

| 事業計画  | 実施内容                                 |                                       | 業務改善に向けた分析                                     |
|-------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
|       | (事業報告書)                              | (現地確認)                                |  |
| 受付・接客 | 主催者等と連携し、利用者の苦情等に迅速に対応した。            | 売店やレストランについて、アンケート結果によると、接客対応の評価が低い。  | 担当部門ごとに接客の勉強会を実施する等、接客対応を強化すること。               |
| 広報    | HP掲載、メールやDMによる情報提供や国内外の企業、関係者へ営業を実施。 | HP、パンフレットを確認。事業者へ主催者あてにDMによる営業を行っていた。 | 今後もさらなる広報宣伝を行うこと。                              |
| 情報管理  | 申請書で催事情報公開の有無を確認し、情報管理している。          | 個人情報保護法に基づき、情報管理に細心の注意を払っていた。         | 今後も情報管理を徹底すること。また、情報管理の勉強会を実施し、スタッフの意識を強化すること。 |

## 3. 自主事業

| 事業計画 | 実施内容<br>(事業報告書)                            |                      | 業務改善に向けた分析   |
|------|--|----------------------|--|
| 自主事業 | ワンストップサービス・オープンサービス事業                      | 平成28年4月1日～平成27年3月31日 | <p>ワンストップサービス及び売店の実績は、増収となっている。<br/>経営上の安定化を図るため、今後は、施設利用の付加価値となるような新たなサービス事業の検討も望まれる。</p> <p>企画系の事業では、沖縄コンベンションセンターの設置目的である「地域青少年の育成」や「地域の交流の場」を目的とした催事が開催されたほか、施設の利活用を促すための内覧会が実施されている。</p> <p>自主事業は閑散期対策等の有効な手段にもなり得る反面、利用料金を免除にすることができるため、その実施にあたっては施設の予約状況や収支のバランスを勘案するよう指導してきたところであり、本年度においては一定の考慮がなされている。</p> <p>なお、自主事業に係る経費は、施設の管理運営経費と区分されるべきものであることから、実施に際しては経費区分の徹底についても引き続き指導していくものとする。</p> |
| 自主事業 | レストラン運営、劇場・移動売店等事業                         | 平成28年4月1日～平成27年3月31日 |  |
| 主催事業 | 沖縄コンベンションセンター施設内覧会                         | 平成27年5月27日           |  |
| 共催事業 | 夏休みこども自由研究 in 沖縄コンベンションセンター                | 平成27年8月1日～2日         |  |
| 共催事業 | 沖縄コンベンションセンター・琉球新報社presents KINGSバスケットスクール | 平成28年8月29日           |  |
| 共催事業 | 沖縄コンベンションセンター施設内覧会                         | 平成27年10月21日          |  |
| 共催事業 | 劇団四季こころの劇場                                 | 平成27年3月29日～30日       |  |

II. サービスの質の評価

| 評価項目    | 第三者（利用者等）評価       | 指定管理者<br>自己評価 | 業務改善に向けた分析   |   |
|---------|-------------------|---------------|--|---|
| 施設・設備管理 | 施設利用の満足度（主催者）     | 88% (79%)     | 主催者、来場者とも前年度に比べ向上しており、対応マナー評価と連動していることから、館全体での快適に使っていただけるようにとの取組が評価につながっていると思われる。<br>電光掲示板やパンフレットトラックに関しては、前年度に比べて下がっていることから、そのニーズやあり方と検討する必要がある。<br>駐車場の課題は、主催者、来場者双方から毎年指摘があるが、年度末に駐車区画の引き直し及び第3駐車場の拡張を実施し、約40台増やした。しかし、絶対数が足りない状況に変わりなく、周辺施設との連携、利用者への公共交通機関の利用周知に取り組む一方、エリア共同の駐車場設備の建設について、自治体へ働きかけたい。<br>また、雨天時には、会場移動や退館時には臨機応変に連絡通路の解放や、バス乗り入れ等に対応している。 | 主催者アンケートの回収率は上がったが、来場者アンケートは前年度回収率の高かった催事が、27年度は開催されなかったことから、回収数は減少した。<br>施設利用全般として、満足度は上がってきており、取組の改善効果がみられ、評価できる。<br>駐車場については、拡張により約40台の増となったことから、若干では改善傾向にあるものの、満足度は低く、抜本的な改善とはなっていないことから、引き続き、周辺施設との連携、利用者への公共交通機関の利用周知に取り組む必要がある。<br>レストランに係る項目については、満足度が上がったが、利用者が集中する時間帯は座席の確保等を工夫する必要がある。<br>案内表示、電光掲示板、パンフレットトラックについては、更なる満足度の向上を図る対策を検討する必要がある。 |
|         | 施設利用の満足度（来場者）     | 90% (88%)     |  |   |
|         | トイレ使用の満足度（来場者）    | 75% (72%)     |  |   |
|         | 案内表示の満足度（来場者）     | 74% (80%)     |  |   |
|         | 清掃状況の満足度（来場者）     | 90% (82%)     |  |   |
|         | 駐車場の満足度（主催者）      | 56% (56%)     |  |   |
|         | 駐車場の満足度（来場者）      | 58% (50%)     |  |   |
| 利用規定    | 手続きや利用規定の満足度（主催者） | 61% (54%)     |  |   |
| 接客対応    | スタッフの対応・マナー（主催者）  | 93% (90%)     |  |   |
|         | 劇場売店の満足度（来場者）     | 81% (80%)     |  |   |
|         | レストランの満足度（主催者）    | 74% (83%)     |  |   |
|         | レストランの満足度（来場者）    | 69% (65%)     |  |   |
|         | 警備員の満足度           | 66% (71%)     |  |   |
| 施設サービス  | 劇場売店の満足度（商品）      | 74% (69%)     |  |   |
|         | レストランの満足度（メニュー）   | 68% (62%)     |  |   |
|         | 電光掲示板情報           | 57% (68%)     |  |   |
|         | パンフレットトラックの情報量    | 55% (65%)     |  |   |

\*（）内は前年度数値

| アンケート回収数・回収率 |         | 主催者 |     | 来場者   |      |
|--------------|---------|-----|-----|-------|------|
| 開催件数         | 来場者数    | 回収数 | 回収率 | 回収数   | 回収率  |
| 467          | 503,364 | 115 | 25% | 1,644 | 0.3% |

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(千円)

| 収入項目   | 平成27年度     |         | 対計画比 (%) | 平成26年度実績 | 対前年度比 (%) |       |
|--------|------------|---------|----------|----------|-----------|-------|
|        | 事業計画       | 実績      |          |          |           |       |
| 利用料金収入 | 展示棟        | 142,527 | 134,517  | 94.4     | 138,035   | 97.5  |
|        | 劇場棟        | 59,589  | 64,353   | 108.0    | 57,711    | 111.5 |
|        | 会議棟        | 106,045 | 98,246   | 92.6     | 102,702   | 95.7  |
|        | 計          | 308,161 | 297,116  | 96.4     | 298,448   | 99.6  |
| 指定管理料  |            | 65,691  | 65,691   | 100.0    | 67,946    | 96.7  |
| 自主事業収入 | ワンストップサービス | 13,749  | 16,206   | 117.9    | 10,951    | 148.0 |
|        | 売店         | 3,370   | 5,091    | 151.1    | 3,553     | 143.3 |
|        | 自動販売機      | 3,670   | 3,316    | 90.4     | 3,405     | 97.4  |
|        | その他        | 3,892   | 3,000    | 77.1     | 2,187     | 137.2 |
|        | 計          | 24,681  | 27,613   | 111.9    | 20,096    | 137.4 |
| 合計 (A) |            | 398,533 | 390,420  | 98.0     | 386,490   | 101.0 |

〈業務改善に向けた分析〉

利用料収入対前年比99.6%、自主事業収入対前年比137.4%、総収入対前年比101.0%の増収となった。  
利用者収入に於いては、上半期は、前年度に比べ、国際会議、コンサート等大型催事の減少により、収入を伸ばすことができなかったが、下半期は、催事件数、利用日数、収入ともに順調に推移した。  
自主事業収入については、大型催事等のワンストップサービス/弁当発注等の増加により、収入増となった。



## (2) 支出

(千円)

| 支出項目  | 平成27年度  |         | 対計画比<br>(%) | 平成26年度<br>実績 | 対前年度<br>比 (%) |
|---|---------|---------|-------------|--------------|---------------|
|   | 事業計画    | 実績      |             |              |               |
| 人件費   | 60,881  | 55,149  | 90.6        | 58,800       | 93.8          |
| 賃金  | 5,298   | 4,940   | 93.2        | 2,828        | 174.7         |
| 修繕費   | 33,500  | 34,169  | 102.0       | 38,861       | 87.9          |
| 施設管理委託費   | 175,317 | 175,316 | 100.0       | 162,414      | 107.9         |
| 保守点検等業務委託費  | 12,000  | 10,539  | 87.8        | 9,527        | 110.6         |
| 委託費   | 1,100   | 4,649   | 422.6       | 1,195        | 389.0         |
| 備品費   | 1,543   | 1,054   | 68.3        | 1,653        | 63.8          |
| 消耗品費  | 1,000   | 832     | 83.2        | 1,092        | 76.2          |
| 広報宣伝費   | 2,000   | 1,615   | 80.8        | 2,111        | 76.5          |
| 印刷製本費   | 1,500   | 513     | 34.2        | 2,112        | 24.3          |
| 光熱水道費   | 70,008  | 61,573  | 88.0        | 68,474       | 89.9          |
| 燃料費   | 200     | 136     | 68.0        | 161          | 84.5          |
| 旅費  | 1,600   | 1,440   | 90.0        | 1,724        | 83.5          |
| 保険料   | 520     | 479     | 92.1        | 483          | 99.2          |
| 公租公課  | 5,600   | 5,006   | 89.4        | 6,148        | 81.4          |
| 渉外費   | 1,000   | 526     | 52.6        | 506          | 104.0         |
| 賃借料   | 5,379   | 4,982   | 92.6        | 4,772        | 104.4         |
| 通信運搬費   | 1,090   | 1,030   | 94.5        | 968          | 106.4         |
| 負担金   | 223     | 190     | 85.2        | 183          | 103.8         |
| 支払手数料   | 300     | 245     | 81.7        | 265          | 92.5          |
| 被服費   | 289     | 362     | 125.3       | 236          | 153.4         |
| 商品仕入費   | 13,206  | 16,995  | 128.7       | 10,645       | 159.7         |
| 雑費  | 350     | 330     | 94.3        | 338          | 97.6          |
| 交際費   | 450     | 256     | 56.9        | 328          | 78.0          |
| 食糧費   | 200     | 188     | 94.0        | 147          | 127.9         |
| 贈謝金   | 300     | 0       | 0.0         | 0            |               |
|   |         |         |             |              |               |
| 合計 (B)  | 394,854 | 382,514 | 96.9        | 375,971      | 101.7         |
| 〈業務改善に向けた分析〉  |         |         |             |              |               |
| 総費用に於いては、施設管理委託費は必要費高騰のため前年度より増加しているが、高熱水量費は、削減計画のもと照明のLED化の継続実施、契約電力の更改、空調システムの改善等を実施した結果、コスト削減の成果が出た。 |         |         |             |              |               |

2. 経営分析指標

(千円、%、円)

| 評価指標   | 平成27年度 |      | 対計画比<br>(%) | 平成26年度<br>実績 | 対前年度<br>比(%) |
|--|--------|------|-------------|--------------|--------------|
|  | 事業計画   | 実績   |             |              |              |
| 事業収支<br>(収入(A)－支出(B))  | 3679   | 7906 | 214.9       | 10,519       | 75.2         |
| 利用料金比率<br>(利用料金収入/収入(A))   | 77.3   | 76.1 | 98.4        | 77.2         | 98.6         |
| 人件費比率<br>(人件費/支出(B))   | 15.4   | 14.4 | 93.5        | 15.6         | 92.4         |
| 外部委託費比率<br>(外部委託費合計/支出(B))   | 47.4   | 48.6 | 102.4       | 45.7         | 106.3        |
| 利用者あたり管理コスト<br>(支出(B)/利用者数)  | 451    | 760  | 168.5       | 423          | 179.6        |
| 利用者あたり自治体負担コスト<br>(指定管理料/利用者数)   | 75     | 131  | 173.9       | 76           | 171.7        |
| <b>(業務改善に向けた分析)</b>  |        |      |             |              |              |
| <p>事業収支は計画値を上回ったが、26年度との比較では減となっているが、収支は黒字となっている。経費の削減については、LED等の省電力機器の導入に伴うコスト削減効果が現れている。</p> <p>利用者あたりの管理コスト及び自治体負担コストは、沖縄国際映画祭の会場が那覇市に移ったことによる利用者数の大幅減により、増加となっている。</p> <p>今後は、複数会場を複数日で利用する大型催事の件数を増やすため、積極的かつ計画的な営業活動を行い、新規顧客の獲得とリピータの確保に努め、安定的に収入を得ていく必要がある。特に、夏場の閑散期については、県内催事の誘導等稼働率向上対策の検討が必要である。</p> |        |      |             |              |              |

|   |
|---|
| <b>(総評)</b>   |
| <p>催事件数が増加したが、連続開催日がある大型催事が少なかった等の理由から利用料金収入は減少している。収支については、コスト削減効果もあり、単年度の事業収支は黒字となっている。今後も引き続き、競合施設との差別化や、新たな事業展開、積極的な営業活動及び情報発信を行っていく必要がある。</p> <p>また、築28年が経過しており、施設全体の老朽化が進んでいることから、通常の管理運営業務とは別に各施設の保守点検・修繕作業が大きな課題となっており、今後も県と連携を図りながら、施設の保全と利用率の向上に努めていく必要がある。</p> |

※経営分析指標の評価の考え方

| 評価指標           | 計算方法       | 評価の考え方   |
|----------------|------------|--|
| 事業収支           | 収入－支出      | 事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。  |
| 利用料金比率         | 利用料金収入/収入  | 指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。   |
| 人件費比率          | 人件費/支出     | 支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。  |
| 外部委託費比率        | 外部委託費合計/支出 | 外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。  |
| 利用者あたり管理コスト    | 支出/利用者数    | 1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。 |
| 利用者あたり自治体負担コスト | 指定管理料/利用者数 | 1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。                                      |